

2018年3月17日 平成29年度第3回総会議事録

会場：サンアビリティーズ城陽 会議室

時間：午後3時～6時

出席：吉田進、吉田寿子、中ノ瀬啓作、石田直章、岡本孝義、大堂秀樹、瀬尾桂一、城隆志、三浦浩、高橋省吾、仲博幸、田村祥（外部顧問）、吉田彫子（事務局）（理事・正会員出席11名）

委任欠席：中元伊知郎、岡田有志、福嶋康人、宇城元（以上4名）

欠席：古城資久、向井英司、金谷圭介、竹田将広（以上4名）

議題1：定足数の確認、議事録署名人の指名

19名のうち出席11名、委任欠席4名参加、合計15名参加。

過半数を超えているので成立

議事録署名：岡本孝義、仲博幸

書記：吉田彫子

議題補足：正会員追加について

田村相談役を平成30年度より、正会員に追加することについて。

三浦選手：連盟の外の立場の人として田村相談役も理事に入って運営してもらうのは大歓迎。さらに理事に選手も加わった方が、選手の意見も連盟に言いやすいので、いいのではと思っている。定款に3名と決まっているのは知っている。

事務局長：定款に理事は3人と決まっているのでこの場で決定することはできない。定款を変えるには半年ほどかかる。今すぐ変更するには、現在の理事のうち一人がやめることになる。

理事長：連盟の活動が大きくなっているので、外から理事を入れていく方向にしたほうがいいとは思っている。そのために、再来年度定款を変更して理事を増やす方向で行くとして、来年度は定款を変えるために活動するのではどうか。

三浦選手：賛成です。

田村相談役：選手一人、事務局長一人の意見だけではなく、会議の中でもんで大勢で議論が必要ではないか。選手も運営側（理事）に入って連盟を育てていくのが重要と考える。1年間かけて意見をもんで集約、議決するということにしていかがいか。

理事長：次回理事会で方向性を決める、次の理事会で候補者を挙げる、一年後の理事会で決定する、ということを本日決定としてよろしいでしょうか。

田村相談役：理事を増やす（定款を変更する）目標の日付を決めて、その日に変えるにはいつまでに決定すれば定款が間に合うのかを調べる必要がある。時間的なデッドラインに向かって意見を集約していく、ということで今後進めていきましょう。

※ 定款を変更するのに要する時間：吉田寿子事務局長が調べる。

理事長：方向性が決まりました。田村相談役をまず正会員にすることは承認いただけますか。

満場一致で承認。

田村相談役：1年間関わってきて、だいぶ連盟の様子が分かってきた。正会員になって、これからも尽力したい。

議題2：第一号議案：平成平成30年度年間計画と予算について

◆年間計画

事務局長：JPCより10月のインドネシア・アジアパラゲームはベストメンバーで出場するよう依頼があった。そのため当初予定していたジョン合宿の日程を変更する予定。また、城さんのご協力で6月に大分合宿も開催予定となっている。

三浦選手：アジアパラゲームなど国際大会で、ジョン氏（海外招聘コーチとしてH29年度に5回来日、合宿を開催）は、日本チームのコーチになれないのか。

事務局長：IPC技術委員長だから、一か国のコーチというのは実現は不可能と思われる。

理事長：もしIPCを辞めたら日本のナショナルコーチになれるのに、という妄想は持っているが、現実には厳しい。

石田：ジョンは他の国でも日本のように指導者として関わっていると聞きました。

事務局長：アジアの数か国で指導をしている。

仲：計画表で日程が未定となっている箇所、決定しました。

8/26 健常者障がい者交流会

3/17 または 24 兵庫ベンチ IPC 部門

田村相談役：全日本選手権の会場が新しい会場となっているが、詳細を説明ください。

理事長：石田さんのご尽力で日体大を長年使わせてもらっていたが、加速度的に選手の人数と観客数が増えて、会場が手狭になってきたと思っていたところ、日本工学院八王子専門学校から声がかかった。学校としては学生たちにパラリンピックの手伝いをさせたいと、色々な競技を検討したがパラパワーがお手伝いできるのでは、という結論に至り、事務長から直々に電話があり、さらに訪問された。話したところ、連盟にとっても協力してもらえることが有りそうだったので、学校の下見をした。学校は、劇場を持っている、劇場スタッフを育てる学科がある、スポーツトレーナーの学科がある、等、パラパワーの大会運営を手伝ってもらうことは、学生の勉強のためにもなる、連盟としても大きい会場を貸してもらえる、運営スタッフを研修という形で毎年出してもらえるなど、メリットがありそう。学校にも連盟にも良い方向のように思えるので、協力しましょうということになった。

三浦選手：会場が八王子ということだが、これを機に観に来てもらう試合だけでなく、ネット配信も、大勢に見てもらえる試合、情報発信ができる試合を目指すことができそう。しかも、そのための設備や学科、生徒が揃っていて、それに力を入れられる学校だ。

事務局長：スポンサーはおそらく 2020 までの付き合いとなるだろうが、学校なら教育、実習材料として、パラが終わってからもずっと続く活動ができることを期待している。

事務局長：デメリットは空港から遠く交通の便（公共交通機関）が悪いところだが、京王観光が京王プラザホテルを一万円以下で手配可能。さらに、学校が福祉車両のバスを持っているので（何台も）送迎もしっかりしてもらえる。交通については心配はなさそう。

三浦選手：補助員の、日体大ウェイトリフティング部も終わりか？

理事長：日本工学院八王子専門学校の学生も使いたい。が、合同合宿を行うなどして、育てていく必要がある。

事務局長：日体大ウェイトリフティング部も、会場がどこであろうと手伝いたいと言っている。

3/24 に石田さんと理事長で日体大の学長にお世話になったご挨拶に行くことが決定。

◆予算

新年度にならないと助成金額が決まらない。あいまいな状態では話が進まないなので、5月の総会で報告させてください。

満場一致で了承を得る。

事務局長：JPPF 登録費は選手、審判、役員から徴収しているが、コーチ・トレーナーも必要ではないか？

三浦選手：連盟負担で国際大会に行くので登録費徴収に賛成。さらにドクターも必要では？

理事長：JPPF の認めるコーチ、トレーナー、ドクターから会費を頂くことは了承されるか？

大堂選手・田村相談役：金額が決まらないと賛否の判断ができない。

三浦選手：審判の JPPF 会費は？

事務局：国内審判員（3,000 円）、国際 2 級審判員（5,000 円）、国際 1 級審判員（10,000 円）

理事長：では、決をとります。

会費は取らない（0 人）、3,000 円（3 人）、5,000 円（9 人）

理事長：では、JPPF 公認コーチ、トレーナー、ドクターの連盟登録費は年間 5,000 円に決定。

議題3： 第二号議案 平成 30 年度強化指定選手について

事務局長より来年度の強化指定選手のランク案について説明。

.....

強化 A：パラ標準記録突破者（合宿、海外遠征等の）助成額は 100%

強化 B：世界標準記録突破者（合宿、海外遠征等の）助成額は 70%

強化 C：世界標準の 90% 以内の記録を出した者（次世代育成選手的なニュアンスになる）
（合宿、海外遠征等の）助成額は 50%

強化 A 候補の斉藤伸弘さんは病気療養中のため除外し、完治後 A に認定する。

強化 B 候補の當山さんは辞退されたので、除外する。

強化 C 候補に名前が入っている松崎さんは世界標準記録の 90% には到達していないが、ジュニアとして活躍しているので対象とする。

ここまで説明

瀬尾：指定選手は毎年見直し、更新されているのか？パラサイクリングでは事前通告なしで大会参加当日、突然指定選手を解雇されたということがあったそう。パラ・パワーは記録の数字で明確なので安心。

田村相談役：再確認。この A、B、C は 2018 年度のものか。一度ここで決まったものは 1 年間変わらないのか？

吉田・中ノ瀬・瀬尾：ランクアップに関しては、大会毎に更新。ランク外しは年度ごと。予算しだいで助成できる額は変わることがある。

田村相談役：助成額に応じてランクが変動することは選手は納得しないのでは？選手がやる気を失うようでは困る。

中ノ瀬：基準はしっかり決まっているので、選手も良く分かっている。

大堂選手：新しい選手には分かりにくいので、座学で言った方がいい。

岡本：座学に来ない人はどうやれば分かるか？

事務局長：HP 等で公表することにする。

議題4： 第三号議案 2018 年アジア選手権選考、アジアパラ選考について

◆アジア選手権選考について（アジア・オセアニアオープン選手権）

事務局長：IPC より通達があり、アジア・オセアニア オープン選手権の標準記録がなしになった。日本は1クラス3人まで参加可能になった。(他国は2名)

団体戦が今年からできた。他国は団体戦のために3人選手を出せるが、3番目の選手は表彰対象外。IPC 大会参加費が550→500 ユーロに変更。JPPF には250→240 ユーロ入ることに変更。(ここまでIPC からの通達内容)

また、大会名称が「アジア・オセアニアオープン選手権」と「オープン選手権」なので、アジアオセアニア以外の国からの参加もありうる。

三浦選手：ヨーロッパ選手権の開催要項は？同条件かどうか確認してほしい。同条件でなければ、アジア・オセアニアに選手が集中する恐れがある。今押さえているホテルだけでは足りない、開催期間が足りないなどの問題が生じないか？

事務局長：確認します。

事務局長：日本選手の出場者選考について。ランキングは別表を参照。女子は標準記録がなしになり、選手数が少ないので、出たければ全員出られることになる。男子は競争が激しいクラスもある。

この大会で選手が負担する金額について相談です。

事務局案

IPC 参加費 (500 ユーロ)：強化指定 ABC は JPPF が払う。指定外の選手は自費。

交通費・宿泊費：A 100%、B 70%、C 50%、を連盟が助成。指定外の選手は自費。

というのでしょうか。

→ 満場一致で決定。

彫子：出場できる選手について、まだ良く分からない。

事務局長：アジア選考ランキングに入っていないとアジアオセアニア選手権には出られない。アジア選考ランキングというのは、2017 年 12 月の世界選手権 (メキシコ)、2017 年 12 月 17 日の全日本選手権、2018 年 5 月 12 日~13 日のチャレンジカップ京都で記録を残した選手がランクインするもの。ただし、アジアオセアニアオープン選手権に出場のための標準記録は設定なし、ということです。

彫子：分りました。

事務局長：チャレンジカップの申し込み締め切りは 4/11。今回に限り、アジアオセアニアへの出場枠（3つ）を競っているクラスがあるので、エントリー発表を 4/12、その後 1 週間クラス変更ありを認めてよいか？

→ クラス変更「認めない」。今回だけの「特例は無し」が多数により決定。

IPC ルールどおり。（エントリーしたクラスで出場のこと。ただし当日のクラス変更はあり。その場合は記録は認めるがランキングに入らない。）

大堂：C に届かない人が出場することに対しては疑問を感じる。試技が甘い選手を国際大会に出して良いのか。

事務局長：ランキングに入っている選手しか出場できないので、試技が甘い選手が出場することはないと思われる。また、アジアオセアニア大会が初出場の大会になる選手もあり得ないので心配ないのでは。その根拠は、2017 年世界選手権（メキシコ）、以降の大会で記録を残した選手でランキングに入っている人が選考対象だから、大会で失格する選手はランキングに入っていない。最後のチャンスはチャレンジカップ。

→ 出場資格について採決→強化 C 以下であっても出場できる。（ただし自費）

三浦選手：日本選手の宿泊ホテルは同じところがいい。ミーティングやチームジャパンとしての一体感の為に重要では。

事務局長：日本選手は宿泊費は連盟が負担できる範囲の中でグレードが高いステーションホテルに統一してよいでしょうか。

→ ステーションホテルに決定。

◆アジアパラ選考について

事務局長：先ほどの議題でも上がった通り、JPC からベストメンバーで出場するよう依頼があったので、アジアパラ選考のためのランキングは 5 月のチャレンジカップ京都の記録まで、ということよろしいでしょうか。

→ 満場一致で賛成。

議題5: 第四号議案 全日本選手権について

理事長：第一号議案の年間計画のところで話した通り。

議題6: 第五号議案 JSCの調査について

別紙参照。調査報告を読み上げ、報告した。今回指摘された点については、改善することが報告された。

議題7: 第六号議案 その他

1、世界選手権・全日本選手権反省

→メール会議に持ち越し

2、懲罰規定について

→継続審議

3、合宿参加費について

→継続審議

4、イベントの謝金について再確認

前回からの継続審議だが、結論が出ず。ただし、長い間継続審議となっているので
5月に結論を出すこととする。

→メディア出演料について話された。

出演の都度、選手と連盟が話し合って取り分を決める。50、60、70%の
いずれかの割合で。負担割合について選手と文書を交わす。という話が出た。

→奥山一輝選手が出演した NOMURA ホールディングスの WEB ムービー出演に
については今回は 70%支払うことに決定。

5、各交通費等の立替のお願いと連盟からの支給方法の変更についてご相談

大会交通費宿泊費について、自費立替で、後払い精算にしてはどうかという事務局案に対し、

作業の煩雑さの増加が懸念される、割高チケット購入の可能性も考えられることから、従来通り事務局一括購入、大会終了後、領収書、飛行機チケット半券などを提出してもらう、ということに決定。ただし、「1 週間以内に必要書類の提出が無い場合は請求」という同意書を提出してもらうこととする、と決定。

6、平成 30 年度銀行からの借り入れについてご相談
→メール会議に持ち越し

7、スポンサー獲得のご協力をお願い
→メール会議に持ち越し

8、その他

中ノ瀬：現在 JPPF コーチは 4 人しかいないが、5 人以上必要だ。大会では選手 3 人に対してコーチ 1 人が望ましい。

理事長：連盟の活動が拡大化しており、人手不足が深刻な問題になってきている。とくにボランティアが必要なのは、イベントと、大会スタッフ。

瀬尾：ボランティアは大会で練習場の補助はやれるのでは。

大堂選手：メディア出演情報はメールでもお知らせして欲しい。

三浦選手：オリパラ団が 3/25→4/15 に変更、3/26 の MX は出演します。

以上、審議事項が終了したので、理事長より閉会宣言された。

書記 ； 吉田彫子



理事長 ； 吉田進



議事録署名人； 岡本孝義



議事録署名人； 仲博幸

